

# 平成16年度 産業建設常任委員会行政視察報告書

平成17年1月24日

1. 日 程 平成16年11月16日～18日
2. 視察先等 京都府長岡京市 人口 7万7千人  
岐阜県美濃市 人口 2万5千人
3. 視察事項等 長岡京市 ・街づくりにおけるバリアフリーについて  
美濃市 ・まちづくり総合支援事業について
4. 視察者 一行 8名  
委員 安田 憲喜委員長 高井 保副委員長 広野 豊作委員  
小野吉太郎委員 茂岡明与司委員 大桃 一明委員  
当局 樋口 敏晴都市計画課長補佐  
随行 石井 信一議会事務局副参事

## 長岡京市

### 【市の概要】

京都市、大阪市の中間に位置し、北は向日市と京都市、南は乙訓郡大山崎町、東は京都市、西は西山山地を介して大阪府三島郡島本町に接している。京都市と大阪市を結ぶ主要道路、鉄道が市域を南北に縦断しており、名神高速道路、国道171号、西日本旅客鉄道東海道本線（JR京都線）が市東部を、阪急京都線が市中央部を通っている。

市域の中央部から東側にかけては可住地の平坦部（市域面積の約65%）となっており残りは山地（西山）である。

土地利用は中央部が住宅、商業、農業などの用途に利用され、東部では工業用途の占める割合が大きい。市域面積19.18㎢、人口77,820人であり、古くから産業に恵まれた地域で、主として丘陵地で営まれている筍（たけのこ）づくりは長い歴史と知名度を持っている。

### 【事業の概要】

近年急速に高齢化が進んでおり、2015年には国民の4人に1人が65歳以上という超高齢社会を迎えると言われている。また、障害者が障害のない人とともに社会参加できる「ノーマライゼーション」の理念が浸透してきており、高齢者や身体障害者などが自立した日常生活や社会生活を営むことができる都市環境の整備が求められている。

国は平成12年11月に「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」（通称：交通バリアフリー法）を施行し、公共交通機関を利用した移動の利便性、安全の向上を促進するという基本方針を示した。それを受けて市民の参

画により策定した第3次総合計画・長岡京プラン21に基づきユニバーサルデザインの考え方を基本として「歩きたくなるまちづくり」を推進し、誰もが安全、快適に移動できるように公共施設や駅・道路などの総合的なバリアフリー化をめざしたものであり、平成22年を整備目標年次として取り組んでいる。

「住みつけたい、みどりと歴史のまち長岡京」、「ふれあいとにぎわいに満ち、だれもが歩きたくなるまちづくり」を長岡京市の将来像としている。

#### ◎長岡京プラン21

- (1)誰もが安心して移動でき、社会参加できる環境づくりを支援するバリアフリー化をめざす
- (2)自然・都市環境や歴史・文化資源との調和を図ったバリアフリー化をめざす
- (3)心のバリアフリー化を育み、やさしさとふれあいのあるバリアフリー化をめざす
- (4)ユニバーサルデザインを導入し、誰もが安全、快適に移動できるバリアフリー化をめざす
- (5)まちの魅力向上と活力、にぎわいの創出を生み出すバリアフリー化をめざす
- (6)市民との連携や市民参加に基づくバリアフリー化をめざす

#### <コミュニティバスの事例>



## 美濃市

### 【市の概要】

県のほぼ中央南部に位置する、東西12.5km、南北15.8kmとかなり広い市域を擁し、北部は瓢ヶ岳（ふくがけ・1,163 m）、今淵岳（1,048 m）、矢坪岳（873 m）をはじめ、約3分の2が山林におおわれ、南部の盆地平野では稲作や野菜栽培が行われる。南北に長良川が貫通、西から流れてきた板取川と合流し、河岸の狭い河合平地に集落が点在する。板取川流域は、牧谷といわれ、1200年の伝統を持つ「美濃和紙」の産地として栄え、現在も紙業振興を図る。山地を南流した長良川が盆地平野に流れ、その河口付近が市の中心街で、政治・経済・交通の要地となっている。

人口25,023人で、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた「卯建（うだつ）」の上がる町並みが残る歴史と文化のまちである。

### 【事業の概要】

歴史的地区（目の字）街路整備事業

- ・道路修景事業 道路及び側溝（自然石排水性舗装、石張舗装、街路灯）
- ・市街地整備事業 ポケットパーク整備、サイン整備等
- ・電線類地中化事業 参画者（中電、NTT、中部テレコミュニケーション、有線、共同テレビ）を集め実施された。

この事業については、平成11年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことを契機に、町並みの修理・修景事業を進め、景観マニュアルを策定し、屋根、壁などの仕上げを細かく規定することによって、良好な景観の形成をはかった。

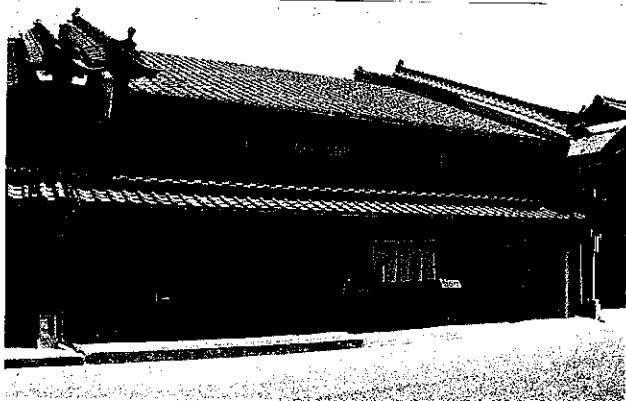
文化庁所管の補助金により修理・修景を行う住民には、

伝統的建造物 4/5 上限 600万円

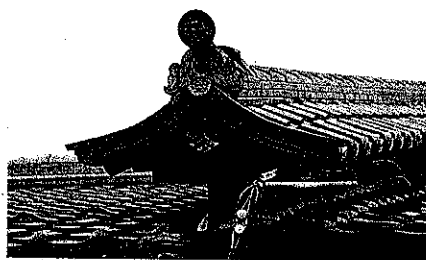
それ以外 3/5 上限 400万円

平成15年までに46件の修理・修景が実施された。

修理修景事業

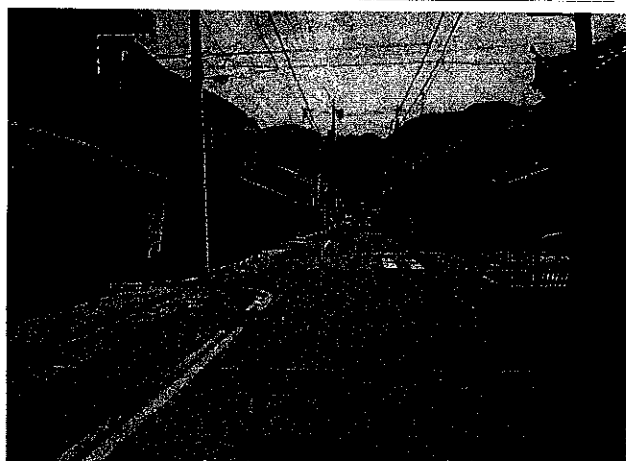


松久家住宅／本住町



旧今井家の西側うだつから少し発達した形式の軒飾りです。鬼瓦は屋号を表して少し立派になり、反りのある破風瓦二枚が「人」の字の形になっており、簡素な懸魚もついています。

施工前



施工後



〔所 見〕

・長岡京市

交通バリアフリー法では、駅などの旅客施設を新たに建設する場合や、バスなどの車両を新たに導入する場合、バリアフリー基準（移動円滑基準）への適合を義務付けている。

また、市町村主導で駅とその周辺の道路、信号機などを一体的にバリアフリー化するスキームも盛り込んでいる。

これによって、駅やその周辺の道路などのバリアフリー化が進むことになる。

中、高齢者、身体障害者や妊産婦、けが人なども含め、みんなが公共交通機関を使った移動をやすくするためのバリアフリー化は、まったなしの課題であると痛感した。

・美濃市

美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区は、東西方向の二筋の街路と、これを結ぶ南北方向の四筋の横町からなる目の字型の町割りが、特長となっている。江戸時代初期に築かれたこの町は、地域性豊かな意匠や造形をもった伝統的な建造物が密度濃く残り、特色ある歴史的景観が保たれている。

又、この町は丘の上に位置するため、水害や地震に強い反面、水利に乏しく、一度災害が発生すると大惨事となった。屋根の両端に防火壁の「うだつ」を上げたり、道幅を広げたり、屋根上に火防神を祀ったりするなど、様々な防火対策が図られた。こうした、うだつや多彩な格子、むし子窓など地域性豊かな意匠や造形美を今に伝えている。